

事業概要

1 目的

新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式に向け、貸出図書資料等に I Cタグを装着し、買い物でのセルフレジのように利用者個人で貸出処理を行うことを可能にすることにより、対面処理での感染リスクを軽減する。

(予約本やDVDなどの受取は、対面処理が必要)

貸出処理は利用者個人が行い、1度に5冊まで可能。

また、借りた資料が他人の目に触れないためプライバシー保護にも繋がると同時に、I Cゲートを設置し、貸出処理を行っていない本の持ち出しを防止する。

2 主な内容と事業費

- 図書資料への I Cチップ貼り付け、I Cチップへ書名や作者ほか管理に必要なデータの入力 (約32万点)

事業費 (委託) 16,329千円

- 自動貸出機、I Cゲート (中央2・江釣子1・和賀1) など運用に必要な機器の設置

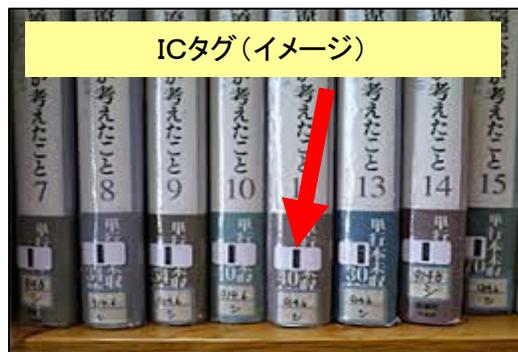
事業費 (備品) 38,423千円

事業費合計54,752千円

3 運用開始

- 令和3年4月から運用開始 (予定)

ICタグ(イメージ)



自動貸出機(筑波大学)



ICゲート(イメージ)

